

1. 基本情報

包括名	南部地域包括支援センターケアタウン小牧
担当圏域	小牧南部
運営法人名称	社会福祉法人 元気寿会

2. 地域包括支援センターの方針（圏域の特色や課題分析を踏まえて）

小牧南部地区は、高齢化率は19%台と小牧市内では低めの地区である。名鉄小牧線にある地域で就労している若者世代の多い居住地である。そんな中、県営住宅や、昭和50年代に建てられた団地の高齢化が目立つ地域でもある。当センターは、平成29年度に新たに開設されたセンターであり、住民への認知度が低いと考えられるため、地域包括支援センターの役割の周知と身近な相談の窓口としての役割を担っていく。地域特性を知ること、地域のつながりを深めていけるような関わりをしていく。

3. 事業別の具体的な取組み事項

I 包括的支援事業

(1) 総合相談支援事業	内容（何を、どのように）	目標値 (実施時期・回数等)
① 総合相談業務	日報や相談受付票にて相談内容等をもれなく記載することとし、誰がどのような対応をしたかを分かるようにする。また、相談内容に応じて、センター内で協議をし、包括内全員が関われるよう、新規相談、包括支援ケースについては毎日朝礼で報告しあうとともに、週に1回のケース検討、月に1回のミーティングを行う。総合相談の経過をわかりやすくするため担当表を作成し毎月1回は、ケースの進捗を確認し、関わり頻度などの確認をしていく。 地域に向けて総合相談窓口としての役割を隔月発行の「お元気だよ」にて周知していく。 土日祝日も職員が待機し、年末年始を除く359日相談を受ける体制を継続する。	随時
② 実態把握	①29年度を始め過去の簡易版チェックリストの状況からみえる地区の分析と、項目により重点訪問者を選定し訪問する。 ②各老人クラブに年1回以上は訪問できるよう働きかける。 ③支え合い推進員と2ヶ月に1回は連携会議を開催する。南部地域支え合い会議を協働で開催していく。	②年1回 ③2か月毎 支え合い会議は年2回
③ 家族介護者への相談体制の充実・情報提供	家族交流会を月に1回、開催し、家族介護者を支援できる体制を整える（交流会及び勉強会の開催）。29年度実施した「介護者に関するアンケート」により、介護者が参加しやすい開催日程を調整していく。	毎月

(2) 権利擁護事業	内容（何を、どのように）	目標値 (実施時期・回数等)
① 成年後見制度の活用促進	長寿・障がい福祉課や権利擁護支援センターと連携を図りながら、必要な支援を行う。	随時
② 高齢者虐待への対応（老人福祉施設等への措置の支援）	虐待の通報に対して、小牧市の虐待対応マニュアルに沿って対応するとともに、市と連携をとって、必要な場合には、老人福祉施設等への措置ができるよう支援する。	随時
③ 虐待防止の普及啓発	①専門職に向けた虐待防止についての研修を行う。 ②地域の集まりに出向き、虐待防止についての講話を行う。	①6月 ②3か所/年
④ 困難事例への対応	困難事例を把握した場合には、包括支援センターの各専門職が対応できるよう相互に連携をする。 各関係機関との顔の見える関係を作りつつ、ネットワークを活用した支援をする。	随時
⑤ 消費者被害への対応	①警察署と連携を図りながら、消費者被害防止の講話を行う。 ②消費者被害相談センターと連携し、「消費者被害情報」の把握ができるよう働きかけていく。	①年1回 ②随時

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業		内容 (何を、どのように)	目標値 (実施時期・回数等)
① 介護支援専門員に対する支援			
ア 日常的個別指導・相談	①主任介護支援専門員が中心となり、担当圏域内の高齢者を担当する介護支援専門員からの相談に応じるとともに、指導・助言を行う。 ②地域の介護支援専門員向けに研修会を企画し、資質の向上を図る。	①随時 ②年1回	
イ 支援困難事例等への指導・助言	①圏域の住民を担当する介護支援事業所の介護支援専門員と事例検討会を行い、困難事例等への指導・助言を行うとともに、介護支援事業所のレベルアップを図る。 ②緊急で支援困難事例の相談があった場合は、必要に応じて担当機関と連携を図り早期に対応する。	①2ヶ月に1回。年6回 ②随時	

II 介護予防ケアマネジメントの実施

(1) 介護予防ケアマネジメントの実施		内容 (何を、どのように)	目標値 (実施時期・回数等)
① 指定介護予防支援・第1号介護予防支援事業	利用者の自立支援に向けた目標を本人と相談の上設定し、目標を達成できるよう支援する。 委託しているケースについても、認定の更新時期等にあわせてチェックを行い、担当者会議に参加しつつ、必要に応じて指導・助言する。	通年	

III 介護予防支援事業

(1) 介護予防の支援と推進		内容 (何を、どのように)	目標値 (実施時期・回数等)
① 介護予防把握事業の推進	①相談や訪問時に簡易版のチェックリストを実施して、介護予防対象者を把握する。	①随時	
② 介護予防の推進及び啓発	①住民主体による介護予防体操を取り入れた講座のフォローを行う。 ②介護予防リーダーや、認知症予防ゲームリーダーを活用できるよう、地域での介護予防活動の場につなぐ。 ③介護予防についての情報を広報や回覧で発信する。	①②随時 ③偶数月 年6回	

IV 地域包括ケアシステムの推進

(1) 地域包括ケアシステムの推進		内容 (何を、どのように)	目標値 (実施時期・回数等)
① 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築	①圏域内の医療機関との連携を密に図れるよう、お元気だよりの設置を行う。 ②民生委員連絡会へ隔月で出席し、顔の見える関係づくりを推進する。	①偶数月 年6回 ②年6回	
② 地域ケア会議の実施	①支援困難な個別ケースを地域の関係者で検討することで洗い出される課題を抽出し、地域における課題や社会資源の把握を行う。介護支援専門員との事例検討会や個別相談時などを通して、個別ケア会議を行う。 ②個別地域ケア会議をもとに、圏域内の南部地区支え合い会議を開催する。	①2か月に1回 ②年2回	

V 認知症総合支援事業

(1) 認知症総合支援事業		内容 (何を、どのように)	目標値 (実施時期・回数等)
① 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進	①認知症サポーター養成講座を、各年代、各機関に向け幅広く地域で開催する。 ②認知症サポーター養成講座の受講生対象に、フォロー講座を開催する。	①年6回 ②年1回	
② 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供			
ア 関係機関との連携 (認知症初期集中支援チームとの連携)	認知症の方を介護している方などから相談があった場合に、認知症地域支援推進員が主となり、訪問や相談を行う。	随時	
イ 認知症予防活動の推進	認知症予防ゲームリーダーや介護予防リーダーの活用により、認知症予防の取組みを支援する。	随時	
③ 認知症の人の介護者への支援	①毎月、家族交流会を開催し、認知症の方を介護している家族支援をする。 ②認知症カフェの立ち上げと運営を支援する。ケアタウン小牧(北外山)、二重堀地区での開催。	①毎月1回 年12回 ②2か所開催	
④ 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進	①出前講座等で認知症声かけ訓練を実施する。 ②事業所、医療機関(医院・薬局等)、商業施設、金融機関を訪問し、認知症サポーターのいるお店を示すためのステッカーを配布する。 ③地域活動の担い手を育成するための、ステップアップ講座を開催する。	①②随時 ③年1回	

VI 在宅医療・介護連携推進事業

(1) 在宅医療・介護連携推進事業	内容（何を、どのように）	目標値 (実施時期・回数等)
① 関係機関等とのネットワークづくり	①こまきつながるくん連絡帳を活用して、関係機関と連携をとりながら利用者支援を行う。 ②在宅医療・介護連携サポートセンターと連携して、入退院支援シートについて協議・活用を図る。 ③多職種に向けた研修に参加する。 ④お元気だよりの設置機関に出向き 訪問による顔の見える関係づくりを図る。 ⑤虐待、多問題ケースに対応するための医療・介護・障害分野とのネットワーク活動を実施し、ともに学ぶ勉強会の機会を作る。	①随時 ②今年度中 ③年4回 ④隔月 年6回 ⑤年2回
② 在宅医療・介護の普及・啓発の推進	地域の集まりへ出向き、介護サービスや在宅医療により、安心して在宅で暮らせる事を伝えていく。	随時

VII 地域包括支援センター独自の重点取組み事項【自由記載】

①把握事業を活用した介護予防に関する取り組みに力を入れる。 ②老人クラブに対して、積極的包括のPRを行う。 ③社会資源が少ない地区（特に春日寺地区）の資源開発に向けた検討を行う。
